

指定管理者事業報告書

2006年6月30日

藤沢市長 殿

所在地 藤沢市朝日町10番地の8

指定管理者名称 財団法人藤沢市青少年協会

代表者の氏名 理事長 横山 弘美 印

次のとおり報告します。

管理業務の実施期間	2005年4月1日から2006年3月31日まで
管理業務を行つた公の施設の名称	藤沢市少年の森
管理業務の実施状況及び利用状況	別添1のとおり
使用料又は利用に係る料金の収入実績	なし
管理に係る経費の収支状況	別添2のとおり
(事務処理欄)	

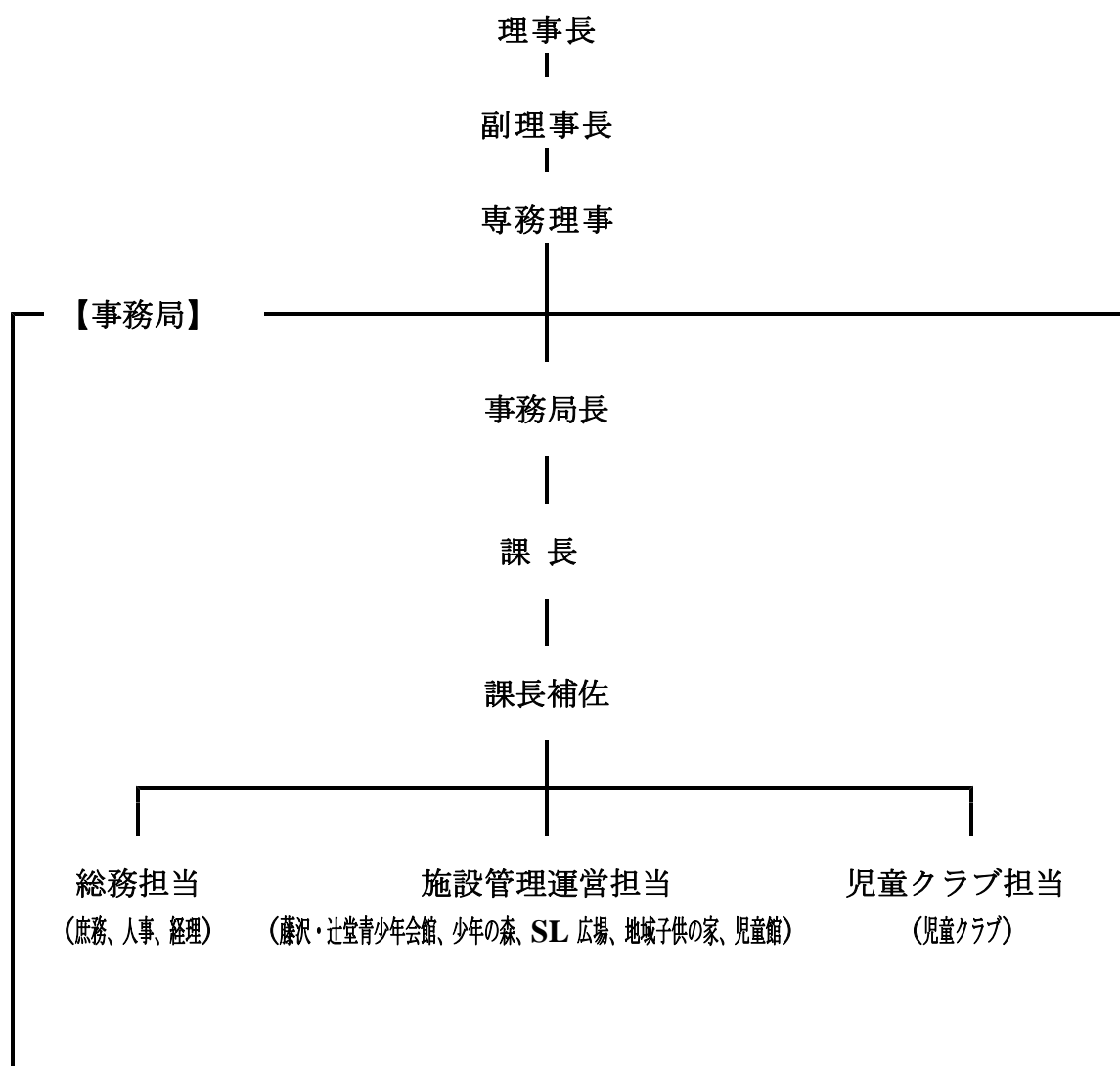
(別添 1)

藤沢市少年の森管理業務の実施状況及び
利用状況報告書 (平成 17 年度)

指定管理者 財団法人藤沢市青少年協会

組織図

1 財団法人藤沢市青少年協会全体組織図



2 少年の森職員内訳

常勤職員	0名
常勤嘱託	2名
非常勤職員	0名
臨時職員	22名
合計	24名

藤沢市少年の森 施設概要

1 設置目的

1980年（昭和55年）5月5日に国際児童年記念事業として開設された青少年野外活動施設で、緑があふれ、野鳥や昆虫が息づく自然環境の中で、青少年が自然に親しみ、自然体験活動や集団生活を通して、青少年の健全育成を図ることを目的としています。

キャンプ場やアスレチックコース、宿泊研修施設等も設置され、家族や友だちとのふれあいの場、自然体験活動の拠点として多くの団体や学校、市民の方々に利用されています。

2 敷地面積

93,642.43㎡

3 開設年月日

1980年（昭和55年）5月5日

4 場 所

藤沢市打戻2345番地

5 指定管理者

財団法人藤沢市青少年協会（事務局：藤沢市朝日町10-8）

6 主な設備

(1) 管理事務所（鉄筋コンクリート造2階建）

- 1階 事務室、談話室、倉庫、身障者用トイレ等
- 2階 緊急避難室（和室）等

(2) キャンプ場

- ① キャンプ利用（7月から9月までの期間のみ利用可能）
常設テント26区画（6人用・8人用テント）
- ② デイキャンプ利用（通年利用可能）
- ③ キャンプ、デイキャンプともに最大200人まで利用可能

(3) 宿泊研修施設「かわせみハウス」（平成17年4月1日開設）

- 定員40人の宿泊研修施設
- 1階 研修ホール、多目的室（宿泊室）、シャワー室等
- 2階 宿泊室3室等

(4) 野外炊事場

キャンプ場に併設（2カ所）

(5) 営火場

キャンプファイヤー等に利用

(6) フィールドアスレチック

丸太やロープ等で作られた20ポイントを設置
スコアカードを使用して、自分の消費カロリーを計算が可能

- (7) 木製遊具
アスレチック機能を持った丸太やロープ等で作られた大小10基の遊具
- (8) 自然散策路
自然観察ができる森の中の散策路
- (9) 水遊び広場（じゃぶじゃぶ池）
水遊びができる水位の浅い池
- (10) 多目的運動場
野球やソフトボール等の利用できる「クローバー広場」、ゲートボールやグラウンドゴルフ、各種レクリエーション活動等の利用できる「さわやか広場」
- (11) その他
芝生広場や自由広場、緑の泉、卓球台等

7 開園時間

午前9時から午後4時30分まで（多目的運動場は午前6時から午後6時まで）

8 休園日

毎週月曜日（7月から9月までのキャンプ利用期間をのぞく）
国民の祝日の翌日、12月28日から1月4日まで

9 利用できる方

- (1) 18歳以下の方とその引率者、指導者
- (2) 18歳以下の方で構成される団体とその指導者
- (3) 藤沢市内の青少年育成団体
- (4) 国および地方公共団体
- (5) その他教育委員会が認めるもの

※キャンプやデイキャンプ、宿泊研修施設の利用は、保護者や成人指導者の引率が
必要

10 使用料

宿泊研修施設をのぞく、すべての設備と貸出物品は無料
ただし、キャンプ・宿泊研修施設利用の際の毛布やシーツ代、また野外炊事やキャンプファイヤーの薪代は有料

11 主な主催事業

- (1) どんごまつり 4月末から5月初めの3日間
- (2) 森っ子あつまれ 年7回
- (3) 親子デイキャンプ 年7回
- (4) 親子キャンプ 7月から9月までの期間で全3回
- (5) 子どもキャンプ 年2回（8月、3月）
- (6) 中学生キャンプ 年1回（8月）
- (7) その他
夕やけコンサート、親子ウォークラリーといも掘り大会、秋のレクリエーション大会、学習水田（稲作体験学習）等

藤沢市少年の森 キャンプ・デイキャンプ利用について

1 利用期間

- (1) キャンプ 7月から9月まで
- (2) デイキャンプ 通年

2 利用時間

- (1) キャンプ 利用初日午後1時30分から利用最終日午前10時まで
 - (2) デイキャンプ 午前9時から午後4時30分まで
- ※開園時間内であれば、キャンプ施設以外での活動は可能

3 利用できる方

18歳以下の方が10人以上の団体やグループ
ただし、保護者または指導者の引率が必要

4 利用料

無料（炊事用薪やキャンプファイヤー用薪、毛布は有料）

5 利用可能人数

キャンプ・デイキャンプともに最大200人まで利用可能

6 貸出物品

テント（キャンプのみ）、毛布（キャンプのみ）、炊事用具、食器

7 利用申し込み方法

- (1) 電話または来園にて申し込み ※先着順
- (2) 利用日の7日前までに（デイキャンプは3日前までに）申請書を提出

8 利用申し込み期間

- (1) キャンプ
 - ①藤沢市内の方 5月 1日から利用日の7日前まで
 - ②藤沢市外の方 5月15日から利用日の7日前まで
- (2) デイキャンプ
 - ①7月～9月の利用 6月1日から利用日の3日前まで
 - ②その他の期間の利用 利用日の3ヶ月前から3日前まで

藤沢市少年の森 多目的運動場の利用について

1 利用できる方

- (1) 成人が引率する5人以上の団体
- (2) その他教育委員会が認めた団体

2 利用広場・利用できる運動種目

- (1) クローバー広場
軟式野球やソフトボール、集団でおこなうゲーム等
- (2) さわやか広場
ゲートボールやグラウンドゴルフ、集団でおこなうゲーム等

3 利用時間

午前6時から午後6時まで（休園日や少年の森主催事業等で使用する日を除く）

4 利用時間区分

以下のとおり、1区分（1コマ）2時間単位で利用

- ① 6：00～8：00 ② 8：00～10：00 ③ 10：00～12：00
- ④ 12：00～14：00 ⑤ 14：00～16：00 ⑥ 16：00～18：00

5 利用申し込み方法

少年の森にて申請書を記入し、提出 ※電話での申し込み不可

- (1) 利用月の2ヶ月前の第1日曜日午前9時から利用申し込みを受付
 - ・午前9時の時点で、利用希望団体が多数の場合には、抽選
 - ・この日の申し込みは、1団体3区分（3コマ）まで
- (2) 利用したい日が当月の場合には、区分（コマ）制限なく申し込み可能
- (3) 利用したい日の前日まで申し込み可能

6 利用料

無料

平成17年度 藤沢市少年の森事業実施報告

はじめに

平成17年度に藤沢市から当協会が指定管理者として当施設の運営を受託し、「藤沢市青少年対策の基本方針」の実現を目標とした年間事業計画に基づき1年間取り組んだ。具体的な成果としては、藤沢市に唯一の宿泊のできる野外研修施設として、利用者の拡大並びに自然を通じた青少年の健全育成に努めた。

これらの実施結果は（別紙）のとおりであるが、各年度の経営方針に基づき実施した事業展開は下記のとおりである。

1 アンケート調査を実施し、利用者の満足度の把握

事業参加者へのアンケートをおこない、事業企画運営の参考とし、また施設利用者（キャンプや宿泊研修施設利用者）にもアンケートを実施し、施設利用者の利便性向上のための声を聞き、施設運営に反映した。

2 遊具等の安全点検の充実

職員により、毎日、遊具や園内施設、通路、散策路等を点検をおこなうとともに、日常業務として園内の安全管理や植栽管理をおこなった。

職員で修繕が可能な箇所については、職員がこれをおこない、専門的な技術を要するものについては、専門業者による修繕を行った。

また、木製遊具やアスレチックは、月1回、園内管理委託業者による点検、注油をおこない、じゃぶじゃぶ池や広場等については、利用者への安全対策のための清掃や草刈り等を適時実施した。

3 本協会所有の宿泊研修施設を活用した事業の展開

平成17年度末に1泊2日で、小学生を対象に宿泊研修施設を活用した「菜の花キャンプ」を開催した。事業においては、少年の森の自然環境での野外活動と、宿泊研修施設内研修ホールでの活動を取り入れ、宿泊研修施設の特性を活かした事業を実施した。

4 事業参加者負担金の適正料金の調査

これまでほとんどの事業が無料であったのを受益者負担等の観点から事業内容や諸経費及び事業内容や市民ニーズ等を考慮した参加者負担金の設定を検討した。

5 販売活動等収益事業の検討

利用者の利便性、収益事業の展開を目的に、一般来園者やキャンプ、宿泊研修施設利用者を対象とした物品販売ならびに業者からのキャンプ、宿泊研修施設利用者向けの食材等受注配達の導入について検討した。

6 職員研修

藤沢市では唯一の野外体験施設であるが、神奈川県内には多くの野外型の宿泊施設がある。これらの施設と連携を図り、互いの長所を学びあうために「神奈川県宿泊施設連絡協議会」に加盟し、情報交換会及び研修に職員を派遣した。

また、職員個人の資質向上のために、県立青少年の家等で実施している野外活動の研修や当協会独自で実施した接遇研修に職員を派遣し、これを全体に報告することにより少年の森職員としてのスキルアップを積極的に図った。

7 藤沢市環境方針への取り組み

別表1のとおり

(別紙) 年間事業報告書

藤沢市少年の森の管理運営の受託

ア 利用状況 利用者総数 65,720名(平成16年度 41,280名)

デイキャンプ	キャンプ	一般利用	多目的広場	主催事業	宿泊棟
3,450	762	7,581	40,892	11,676	1,359

イ 事業の実施状況

・親子デイキャンプ

時期 年7回

(5月22日、6月12日、7月10日、10月23日、11月27日、12月11日、3月12日)

参加者 92家族 355名

内容 家族単位でのキャンプ場利用機会の提供(日帰り)と、野外活動の普及を図った

・親子キャンプ

時期 年3回(7月30日~31日、8月6日~7日、9月10日~11日)

参加者 69家族 235名

内容 キャンプ活動の普及と、親子のふれあいを深める場の提供を行った(宿泊)

・中学生キャンプ

時期 2005年8月13日・14日

参加者 10名

内容 野外炊事、森のナイトハイク、キャンプファイア等を通して交流を深める体験学習の場を提供した

参加費 1,000円

・子どもキャンプ

時期 ①2005年8月27日・28日 テント泊

②2006年3月25日・26日 宿泊棟利用

参加者 ①78名、②32名

内容 子どもだけのキャンプを通し、野外活動の楽しさを知ると同時に自立と協調性を高める機会の提供をした

参加費 500円

・森っ子あつまれ!

時期 年7回(4月10日、6月5日、9月23日、12月23日、27日、2006年1月15日、2月5日)

場所 少年の森

参加者 418名

内容 野外活動の普及、自然とのふれあいを目的に園内探検、ダンボールのそり遊び、巨大バームクーヘン作り等参加者が主体となって楽しむ場を開催した

・どろんこまつり

時期 2005年4月29日・5月1日・3日(3日間)

場所 少年の森(じゃぶじゃぶ池、自由広場、学習水田)

参加者 延べ5,461名

内 容 クラフト、ご飯炊き、フィールドビンゴ、泥田に入って宝物を
探す等1日家族で自然とのふれあいを楽しめる場を開催した

・夕やけコンサート

時 期 2005年7月30日

場 所 少年の森

参加者 181名

内 容 夏の夕暮れ時、自然に囲まれた森の中で音楽を聴くことにより
家族のふれあいを図った

・秋のレクリエーション大会

時 期 2005年11月6日

場 所 少年の森

参加者 1,057名

内 容 親子でのフリーマーケットの出店・新聞紙でのご飯炊きやゲー
ムをクリアした人へやきいもの景品を配るなど、森の自然の中
での家族のふれあいの場を提供した

・親子ウォークラリーといも掘り大会

時 期 2005年11月13日

場 所 少年の森周辺

参加者 86家族 311名

内 容 家庭の日推進事業の一環として、親子が自然に親しみながら触
れ合えるように、ウォークラリーといも掘りを実施した

参加費 300円/家族

・学習水田

時 期 2005年6月～12月 全5回

場 所 少年の森 学習水田

参加者 延べ455名

内 容 田植え、田の草取り、稲刈り、脱穀、餅つきまでの農作業を通
じ、自然に親しみ、農業の実態等の体験を行った

参加費 500円/人

平成17年度藤沢市少年の森 月別利用状況

月	月別利用人数	団体数	内 訳											
			デイキャンプ		キャンプ		宿泊研修施設		一般利用		多目的運動場		主催事業	
			人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	回数
4	6,002	108	289	4	—	—	97	4	592	11	2,434	87	2,590	2
5	12,924	107	453	7	—	—	34	2	1,587	13	4,741	81	6,109	4
6	5,302	126	112	3	—	—	110	4	189	4	4,661	112	230	3
7	6,422	167	382	7	475	11	416	17	343	6	4,406	126	400	4
8	3,932	146	407	10	259	5	337	14	170	8	2,603	106	156	3
9	3,009	117	162	5	28	2	63	3	314	6	2,309	99	133	2
10	3,967	113	204	7	—	—	39	3	1,653	21	1,839	79	232	3
11	6,783	121	160	6	—	—	29	1	945	14	4,257	97	1,392	3
12	3,733	88	0	0	—	—	16	1	632	5	2,868	78	217	4
1	1,772	70	144	4	—	—	79	4	125	3	1,392	58	32	1
2	9,280	89	957	3	—	—	12	1	518	9	7,700	75	93	1
3	2,594	98	180	6	—	—	127	5	513	3	1,682	82	92	2
合計	65,720	1,350	3,450	62	762	18	1,359	59	7,581	103	40,892	1,080	11,676	32

※5月の主催事業には、子どもフェスティバルの3,100人を含む。
 ※キャンプ利用期間 7月～9月

※2月の一般利用が多いのはボーイスカウト連絡会事業で利用したため。

別表1

少年の森

取り組み項目	項目内容	最終(平成19年) 到達目標 (平成15年度比)	基準年度数値 (平成15年度)	平成17年度	平成17年度
				目標率 (想定使用量等)	平成15年度対比率 実績数値
電気使用量の削減	電気使用量 単位:kwh	3%減	35,219	▲1%	▲45%
				34,867	19,507
水使用量の削減	水使用量 単位:m ³	3%減	952	▲1%	▲62%
				942	365
公用車燃料の使用量削減	ガソリン 単位:リットル	3%減	173	▲1%	25%
				172	217
その他燃料の使用量の削減	プロパンガス 単位:m ³	3%減	48	▲1%	▲8%
	灯油 単位:リットル	3%減	678	▲1%	▲29%
廃棄物の減量化	廃棄物 単位:kg	3%減	647	▲1%	▲5%
				641	612

(別添 2)

管理に係る経費の収支状況報告
(平成 17 年度)

指定管理者 財団法人藤沢市青少年協会

「藤沢市少年の森」 平成17年度収支決算書

収入の部

科 目	予算金額	決算金額	増 減
市受託収入	28,519,000	28,519,000	0
負担金収入	201,000	168,900	32,100
収入合計	28,720,000	28,687,900	32,100

支出の部

科 目	予算金額	決算金額	増 減
給料手当	9,661,000	8,916,921	744,079
臨時雇賃金	5,968,000	5,986,680	△ 18,680
退職金	0	506,700	△ 506,700
福利厚生費	1,360,000	1,084,654	275,346
通信運搬費	244,000	327,008	△ 83,008
消耗什器備品費	248,000	99,750	148,250
消耗品費	1,396,000	1,402,095	△ 6,095
修繕費	1,009,000	602,111	406,889
印刷製本費	37,000	35,063	1,937
燃料費	93,000	113,378	△ 20,378
光熱水料費	1,307,000	1,152,293	154,707
食糧費	21,000	19,000	2,000
賃借料	445,000	416,181	28,819
保険料	526,000	547,620	△ 21,620
諸謝金	240,000	210,000	30,000
手数料	321,000	299,450	21,550
租税公課	918,000	951,750	△ 33,750
委託費	3,526,000	4,153,619	△ 627,619
諸経費	1,400,000	1,863,627	△ 463,627
計	28,720,000	28,687,900	32,100